

遠隔授業の導入が3つの学校改革に繋がる

学び方改革・教え方改革・学内の働き方改革

4月以降、多くの専門学校は遠隔授業で学びを止めないことを選択した。初めてWeb会議ツールを活用した学校も多く、試行錯誤しながらの授業開始。このツールを今後どのように活用するのがよいのか。日本マイクロソフトの小川氏、津隈氏に遠隔授業の状況について伺った。

遠隔授業が展開された意味

小川: 遠隔授業については、これまでも学校様にご提案してきましたが、新しいツールの導入に慎重だった学校も多かったです。今回、遠隔授業の必要性の高まりもありますが、「学生の学びを止めない」という気持ちが遠隔授業の実現に結び付いたと思います。そして、導入によって日本の学校全体での「子供の学び方改革・先生の教え方改革・学校での働き方改革」の3つの改革が急速に進んだと思います。

Microsoft Teams 活用の変化と課題

小川: 働き方改革だけでなく、オンライン卒業式・入学式・遠隔授業について多くのお問い合わせをいただくようになりました。弊社のCEOは「この2ヶ月で2年分に匹敵するデジタルトランスフォーメーションが起こっている」と述べています。これくらい急激に拡大したと言えます。

導入にあたり、インターネット環境で聞いた学校はあったと思います。学生の自宅のネット環境の課題もありましたが、改善に向けて取り組まれています。また、導入に関する質問は、導入前よりも導入後の具体的な内容や、学

校向けの Education 版に特化した機能についての質問が多かったです。Education 版には「課題機能」があり、先生が課題の実施方法、提出期限、評価基準を事前設定して学生に配信し、学生も Teams 上で課題を提出できます。

津隈: この課題機能を活用している学校は増えています。課題提出状況や採点もダッシュボードで確認できるので、先生方の労力削減にもなります。単なるチャットツールだけでなく、教育に特化した機能を有効に活用いただいています。

新しい生活様式でのツール活用

小川: 通常の授業においても動画配信を活用した反転学習を取り入れることで、より発展した学習が可能になります。それと授業運営の効率化や先生同士のコミュニケーション促進に繋がるので、先生方の教え方・働き方の改革に繋がることが大きいと思います。有効に使っていただいている事例としては、高専機構様が全国 51 校、教職員 7 万名、2730 チームで Teams を活用いただいています。遠隔でも統一した情報発信やこまめなコミュニケーションが可能になっただけでなく、セキュリティ面の効果が高かった

そうです。メールなどを使わずに、Teams で全てが完結するのでファイル共有も安全に行えると評価いただいています。

専門学校へのメッセージ

小川: 私たちは Teams をコラボレーションハブと呼んでいます。学生、教職員全員が利用することで生まれるコラボレーションの力があると思います。教育機関は無料で使えるので是非活用していただきたいです。

津隈: 遠隔授業により、不登校だった学生にアプローチできたという話も聞いています。ツールを活用することで、様々な学生のケアができる可能性があります。また、学校は学びの場なので、Teams などのツールを引き続き活用することで、学生のうちに IT リテラシーを高めることにもつながって欲しいです。



(左) 小川 実可子 氏

(右) 津隈 和樹 氏

日本マイクロソフト株式会社 Microsoft 365 ビジネス本部 プロダクトマーケティングマネージャー 文教担当として教育事業向けに Microsoft 365 を訴求。

私たちは、TCE 財団の活動を応援します。

「e講師オンライン」7月15日サイトOPEN

最新の実務教育の遠隔授業化を支援します

コロナ禍により企業による実務研修インターンなどの実施が難しくなっています。そこで、IT、ビジネス分野をリードする様々な企業にオンライン授業の依頼が簡単にできるサイト「e講師オンライン」が7月15日にオープンします。

このサイトは、オンライン授業実施が可能なIT・ビジネス分野を中心とした有力企業が登録されており、学校はオンライン授業を依頼したい企業へのオファーができます。その後の授業実施まで

の様々な調整はサイトの事務局が対応します。登録企業の分野は、AI、IoT、セキュリティ、XR、ゲーム、ドローン、eスポーツ、データサイエンス、観光、建築、ビジネス、データマーケティング、ITリテラシーなど様々。業界の最先端のオンライン講師を学校に届けます。

今後、続々と業界を代表する企業、最新の分野で活躍しているベンチャー企業などが登録されますので、是非ご登録ください。



<https://www.ekoushi.online/>

お問い合わせ

運営会社：株式会社ビーアライブ
Mail info@ekoushi.online
TEL 03-3597-1885

ビーアライブは、TCE 財団の検定事業に賛同します。

「Unreal オンライン ラーニング」ご紹介

無料で学べる実習形式のビデオコースとトピックに合わせたコース

5月に開催を予定していた「Unreal Engine Education Summit」は、新型コロナウイルスの影響により中止とさせていただきました。EPIC GAMES JAPAN 様から、オンラインラーニングコースのご案内がございます。Epic Games では Unreal Engine を学ぶための様々なオン

ラインコース「Unreal オンラインラーニング」を、全て無料で提供しています。このオンラインラーニングは、実習形式のビデオコースとトピックに合わせたコースをまとめたラーニングパスをそれぞれ提供していますので、エンジンがまったくの初めての人はもちろん、経験豊富な Unreal

Engine アーティストやデベロッパーの方々のためにも、自分のペースで Unreal を最大限活用できるように設計されています。講演自身は英語で行われますが、多くの講演に日本語字幕をつけています。是非この機会にご視聴ください。



お問い合わせ

UE アカデミックサミット事務局
(株式会社ビーアライブ内)
Mail ue_summit@setten.sgec.or.jp

当事務局は、TCE 財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.08 2020年7月発行(年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-9-6 ヤノデンビル 6F (株式会社ビーアライブ内)

[TEL] 03-3597-1885 [Mail] setten-info@sgec.or.jp [URL] <http://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE 財団) 事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」

情報検定 J 検

URL <http://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 日検

Jobpass

ジョブパス

URL <http://bken.sgec.or.jp/>

●【専門学校と経営】は、TCE 財団の検定事業 (J 検・B 検) と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。